

HOPE^{plus}

【市立芦屋病院だより】



・・・ 新任 Dr のご紹介 ・・・



まきの しゅんいちろう
牧 野 俊 一 郎

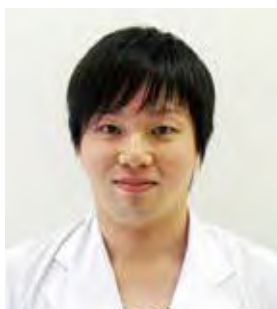
診 療 科
消化器外科

趣 味
ドライブ
スキューバダイビング

先生から一言！

2018年4月より市立芦屋病院に着任いたしました。医師10年目の牧野俊一郎と申します。今年の3月までは大阪大学で大腸癌の研究をしていました。

外科医として地域医療に貢献できるよう精進致します。微力ながら皆さまのお役に立てればと思います。宜しくお願い致します。



臨床研修医
こんどう ひろふみ
近 藤 裕 文

診 療 科
血液・腫瘍内科

先生から一言！

こんにちは。本年度より芦屋病院でお世話になります近藤裕文と申します。前任地は愛媛県で、生まれは福岡県です。

主に血液・腫瘍内科にて勤めさせていただきます。患者さんに信頼していただけるよう努めて参りますので、未熟者ですがどうかよろしくお願いいたします。



臨床研修医
なかの こうすけ
中 野 康 佑

診 療 科
糖尿病内科

趣 味
映画鑑賞
ウィンタースポーツ

先生から一言！

兵庫医科大学 糖尿病・内分泌代謝科から来ました中野康佑と申します。新生活を機に芦屋の風景を楽しみながら自転車やジョギングで通勤したいと思っています。

何かと至らぬ点もあると存じますが、今後ともよろしくお願いいたします。

病院より
お知らせ

平成30年4月より診療科に「神経内科」を標榜しました。

完全予約制につき、受診の際には紹介状をご持参ください。

詳しくは市立芦屋病院ホームページ (<http://www.ashiya-hosp.com>) をご覧ください。

整形外科の紹介

骨折予防・早期の治療・積極的なリハビリテーションで 快適な生活を支援します！

市立芦屋病院整形外科では「寝たきりにならず」快適な老後を送っていただくために、ひざ関節の治療、骨粗鬆症・高齢者骨折の治療、高齢者リハビリテーションの3つの分野にとくに力を入れています。寝たきりにならないポイントは3つあります。

- ① 早めの対処
- ② 10年後を見据えた治療
- ③ 積極的なリハビリ です。

ひざ関節痛には、早めの対処でヒアルロン酸による外来治療や、内視鏡による治療、10年後、85才で元気に歩けることを考えるなら、70才台半ばで人工関節置換手術を受けるのも良い考えです。人工関節センターで皆さんの「歩けるひざ」をサポートしていきます。

また、骨粗鬆症の診断・治療を早めに行い、骨折を予防することも大切です。いざ骨折した場合に迅速に入院できる救急態勢を当院は整えています。骨粗鬆症専門外来も開設しています。

手術後はもちろん、平時でも積極的にリハビリを活用することで回復も自宅復帰も早くなります。不安を感じる方は一度リハビリ外来にご相談ください。

以上のような医療を通して市民の皆さんの期待に応えられるよう頑張りたいと考えています。



左より：清水主任医長・名和部長・大西主任医長・荒木副病院長

理学療法士による骨盤底筋トレーニングについて

産婦人科部長 木村 俊夫

平成30年より、産婦人科外来にて理学療法士による骨盤底筋トレーニングの実施を開始しました。骨盤底筋トレーニングは、咳など不意な動作で尿が漏れてしまう症状に対して行う治療法であり、トレーニングを行うことで尿を止める時の筋肉の動きを強くします。正しい動きを理解することが最も大切で、トレーニング成功のコツは、筋肉の位置を知り、リラックスした状態から始め、骨盤底筋の動きに集中しながら息を止めずに行うこと、そして毎日続けることです。人によりますが、3ヶ月くらいで効果が見られます。

当院では、甲南女子大学看護リハビリテーション学部理学療法学科の協力を得て月1回、第一金曜日午後に講習を行っています。

すでにこのような症状でお困りの方も、今後の予防のためという方も、ぜひ正しい骨盤底筋トレーニングをはじめましょう！

◆骨盤底筋トレーニングについてのお問い合わせは、産婦人科外来まで

平成30年度より 外科系救急の対応日を拡大します！

平成30年4月1日(日)より、外科系救急の対応日時を下記の通り拡大します。

外科系救急では当院の外科医、整形外科医又は応援医師が診察を行います。

外科系救急対応日時

【月曜日～日曜日】

夜間も含めて24時間対応しています

※但し 日曜日午前9時～
午後7時をのぞく

・症例によっては夜間における緊急手術等の対応をお受けできない場合がございます。



市立芦屋病院 救急外来
0797-31-2156(代表)

内科二次救急は24時間365日対応、小児二次救急(輪番制)も平日昼間(9時～17時)に加えて土曜日午後5時から翌日曜日の午後5時まで対応しています。

消化器内科の紹介

全消化管検査・治療に対応！ 高度な内視鏡治療、シームレスな消化器医療を提供します。

消化器内科では消化管および肝胆膵分野の診療を担当しています。

消化管領域：内視鏡による検査・治療が主です。上部消化管検査では苦痛を少なくするために経鼻内視鏡や鎮静下での内視鏡の選択が患者さんの希望で可能です。治療では食道・胃がんのESD（粘膜下層剥離術）をはじめ、食道静脈瘤結紮術、消化管狭窄に対する拡張術、胃瘻造設術など様々な治療を手掛けています。大腸検査でも鎮静下での検査、大腸ポリープの外来治療をはじめ、大腸腫瘍に対するESDなどを中心に行っています。さらにカプセル内視鏡・小腸内視鏡の導入により、必要に応じて全消化管の精査・治療が可能です。

肝胆膵領域：ウイルス性肝炎、自己免疫性肝疾患、NASH（脂肪肝炎）の診断・治療、肝細胞がんの治療（ラジオ波焼灼術、肝動脈化学塞栓術）などの肝疾患領域の診療、総胆管結石や胆道系がんの内視鏡治療を中心に行っています。

上記以外に当科の特色として、

- ① **摂食嚥下機能：**リハビリテーション科、栄養管理室と共同で、高齢化社会で急増する嚥下障害に対して総合的な診療が行えるよう、専門外来を行っています。
- ② **ピロリ菌外来：**胃がんの原因のほとんどはピロリ菌ですが、当院では専門外来を2011年に開設しており、3次除菌療法など保険適応外の治療も自費で可能です。

内視鏡が必要な救急疾患にも対応していますので、消化器の病気で困った際は気軽に受診してください。



左下より：臼井部長・竹田副病院長・竹村主任医長
左上より：池田主任医長・看護師・高橋医員

各種行事のお知らせ

マチネーコンサート

※毎月1回日曜日に開催

日時 ● 4月22日(日)14時30分～
場所 ● 外来棟4階 黄色いピアノ前
内容 ● トリオ・ザ・コンサート
出演 ● 高原里沙(ヴァイオリン)、岡本裕莉亜(歌)、植田遥香(ピアノ)
問合せ ● 総務課

両親学級

※毎月第2土曜日開催

日時 ● 4月14日(土)10時～12時
場所 ● 3階東病棟
内容 ● お産の経過・赤ちゃんとお風呂
対象 ● 妊娠22週以降の妊婦とパートナー 5組
問合せ ● 産婦人科外来（電話は13時～16時）

春の公開講座

4月の公開講座は、西浦病院長による講演です！
ぜひ皆さんお越し下さい。

時間 14時～15時30分 **場所** 芦屋市民センター401号室 **参加費** 1回 200円

日程	内容	講師
4月14日(土)	健やかに生きるをめざして ～市立芦屋病院の挑戦～	病院長 西浦 哲雄 医師
5月12日(土)	最近のお薬にまつわる話題 ～ジェネリック、飲み残し、血液検査値など～	薬剤部 岡本 禎晃
6月9日(土)	ちょっと気になる眼の病気	眼科 平位 潤子 医師

問合せ：芦屋市立公民館（0797-35-0700）

糖尿病教室

問合せ先：
栄養管理室

※毎月第2金曜日開催

時間 13時30分～15時 **場所** 病棟2階 講堂I **参加費** 無料

日程	内容	講師
4月13日(金)	糖尿病治療・療養について ～糖尿病ってなあに？～	医師・看護師・薬剤師 ほか医療スタッフ
5月11日(金)	食事療法①私に必要な食事の量と質について ～食べ控え過ぎていませんか？～ 薬物療法①処方薬のねらい ～糖尿病薬にはどんな働きがあるの？～	管理栄養士 薬剤師
6月8日(金)	臨床検査①自己血糖測定について ～正しくはかるためのコツを知りたい！～ 運動療法①効果的な運動について ～ながら体操で上手に活動アップ～ ケア①夏場に注意したいこと ～熱中症対策について～ ※血糖測定器点検会があります。	臨床検査技師 理学療法士 看護師

事業管理者のつぶやき

市立芦屋病院事業管理者 佐治 文隆

フラメンコ

ミナトコウベの旧外国人居留地や異人館街などエキゾチックでハイカラな街並みが、リノベーションされて観光客や買い物客を呼び込んでいます。異人館のある北野町の一角、トアロードのトアホテルの跡地には、神戸外国倶楽部(KOBE CLUB)の瀟灑な建物が付近の景観に趣を添えています。神戸倶楽部は神戸市在住外国人の社交クラブとして1869年(明治2年)に設立されたユニオンクラブを前身とするので、居留地から現在地に移転はしたものの約150年の由緒ある歴史をもっています。倶楽部主催のイベント、フラメンコ・ショーの案内をいただき、会員制クラブに入館できる絶好のチャンスであること、ディナー・ショーで美味しい食事が期待できること、そしてもちろん日本ツアー中のフラメンコギタリスト アルベルト・ロペス(Alberto Lopez)のフラメンコ音楽が聴けることを楽しみに申し込んだ次第です。

ショーは哀愁を帯びたギターの音色で始まりました。クラシックギターと異なり、薄い板厚から生み出されるフラメンコギター独特の歯切れの良い音がメロディとともに客席に溶けこんでいきます。日本人の著名フラメンコギタリスト沖仁のソロを聴いた時とはずいぶん違う感じを受けるのは、演奏された楽曲の違いか、はたまた演奏者の民族性によるものでしょうか。あるいは今回の日本ツアーのタイトル「Detras de la Verdad(真実の裏側)」の意図するフラメンコの既成概念を覆す目的が効を奏しているのでしょうか。浅学の私には判断できませんが、いずれにしろ観客の心を動かしたことは間違いありません。ショーが進むにつれ、カンタオラ(女性歌手)の枯れた歌声が加わり、バイラオール(男性ダンサー)が手拍子とともに力強く床を

踏みならしてリズムをとって踊り始めます。さらに若手の第二ギタリストとパーカッショニストが音と踊りを一層盛り上げてくれます。

フラメンコといえばスペイン、アンダルシア地方発祥と思いがちですが、ヨーロッパを自由に移動するロマ族の音楽をルーツとして、アンダルシアで融合、発達してきたようです。ギター、カンテ(歌)、バイレ(踊り)が一体化して作り上げるフラメンコは、今もなお進化し続けています。フラメンコ3部作「血の婚礼」「カルメン」「恋は魔術師」の映画監督カルロス・サウロの最新ドキュメンタリー「Jota de Saura(邦題:ビヨンド・フラメンコ)」は、フラメンコの起源の一つ「ホタ(Jota)」に絞ってダンスを中心に描かれています。予告編を見る限りでは、激しいレッスン、華麗な踊りなど、フラメンコの奥深さを知らしめる作品のようです。

この夜の楽しみの一つ、ディナーは予想どおりスペイン料理でした。タパス(前菜)に生ハム、蛸のマリネ、ピンチョス(トマト・オリーブ・チーズ)盛合せ、アサリのガーリック風味スープ、主菜は海の幸パエリアのカルタファタ包み、スペイン風チキン・シチューと続き、デザートはバルセロナ風アイスクリームでした。食事にもしっかり満足、テーブルに飾ってあった赤いバラを思わず口に咥えて踊り出しそうになるほどでした。

(2018.4.1)



事業管理者のつぶやきについてはホームページにも連載しておりますのでぜひご覧下さい。

市立芦屋病院 ご案内



※ 病院ネットワークバスもご利用ください 無料

交通案内

JR 芦屋駅、
阪急芦屋川駅から

	タクシー 約7分
	バス 約25分 JR芦屋駅、阪急芦屋川駅のりば2番
	徒歩 約30分

市立芦屋病院の理念

病院理念

あい(愛)・しあわせ(幸福)・やさしさ(優しさ)

基本理念

芦屋市の中核病院として 地域社会に貢献します
患者の意思を尊重し 最善の医療と癒しを提供します



日本医療機能評価機構 認定施設(3rdG:Ver1.0 一般病院2)

市立芦屋病院

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1
TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822
ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>